



三和鋼産 千葉 大地

株式会社三和鋼産の千葉大地は、長年にわたって鉄骨・鍛冶工事の第一線を走り続けてきた。難しい現場でも果敢に挑んできた千葉だが、業界に入ったばかりのころは、右も左もわからず手探りでスキルを磨いていったという。

### 溶接職人としての 第一歩

10代のころ、自宅近所にあった鉄工場の社長と知り合いになり、意気投合した千葉。その会社の本社は北海道だったが、地元であるその鉄工場で製缶加工をしてみないかと誘われた。初めての溶接作業は面白く、一気にのめり込んでいく。

加工をする上で、図面の読解は必要不可欠。どのように図面を読めばよいのかは、友人である社長がしっかりと教えてくれたという。ただし、そこはやはり職人の世界。技術については手取り足取



▲溶接練習中

り教えてもらえるわけではなかった。上手に溶接するためのコツは、自ら探し出さなければならぬ。千葉はひたすら先輩社員の作業を見て学び、手の空いた時間に練習を繰り返して、一歩、また一歩と、職人としての階段を上っていったのである。

数年後、勤めていた鉄工場の閉鎖が決まる。本社のある北海道への異動を打診されたが、10代の自分にとって遠い地に行くことはいささか抵抗があった。そうして悩んだ末に、退職を決断。その後も、鉄骨工事の現場に携わり続け、培ったスキルを活かしてキャリアを積んでいくなかで、三和鋼産と出会ったのだった。

### 変化していった モチベーション

年齢を重ね、千葉自身のライフステージも変化していく。結婚をし、家庭を持ったことで徐々に仕事への向き合い方も変わっていった。それまでは、辛いことや大変な現場で後ろ向きな考えを持つことが多かったが、家族を支える責任感から、仕事を成し遂げることにこだわりの持つようになっていったのである。三和鋼産が社員の頑張りをきちんと評価し、報酬に反映してくれる会社だということも後押しとなった。そうするうちに、自分のことだけでなく、周囲の作業員や会社に対する気持ちも大きくなり、「任された以上、責任



を持つて完遂しよう」という覚悟を持つようになっていく。

「誰かに迷惑をかけるような仕事をしていたら、会社のためにもなりません。たとえば大変だったとしても、それは周りの人も同じ。自分だけが手を抜いていいはずがない。だからと続けていけばいいんじゃない。だからと続けていけばいいんじゃない。時間が長引くだけです。集中して終わらせた方がいいと思っっています」。

「自分のために」から、「家族のために」。そしてそこから「会社や仲間のために」と視野が広がっていくなかで、仕事のやりがいを肌で感じていったのである。

### 挑戦することの 面白さ

これまでさまざまな現場を経験してきたが、なかでも長丁場となり印象に残っているのが、今から2年ほど前に着工し、およそ1年間職長として携わってきた岩手県の電気機器メーカーの建設工事。ガスヤードと製造棟、そして既存

の建物と新築の建物をつなぐ渡り廊下の工事と、3つの現場を走り回った。工期もあまり余裕がなく、できあがった部分を順に引き渡していった。スムーズに進めるための工程管理にはかなり頭を悩ませたという。さらには出張期間も長く、体力的にも決して楽な現場ではなかった。

それでも難しい管理に対して前向きに取り組めたのは、自身の成長の糧になると確信できたから。段取りがうまくはまり、予定よりも早く工程が進んでいくと、達成感も味わえる。難しい現場だからこそそのやりがいを感しながら、千葉は職長としての役目を全うしていった。

### 仲間の ありがたみを実感

この現場を無事に終えられたのは、仲間のサポートのおかげも大きかった。三和鋼産の今野は鍛冶工事の手際が良く、前もって動いてくれたことが心強かったとい

う。また、千葉と顔なじみの協力業者の社員が中心となって、ほかの作業員とコミュニケーションを取ってくれたのもありがたく、現場の雰囲気も良好だった。互いに信頼し合い、助け合える仲間の存在は、千葉にとって仕事をする上での何よりの宝物だ。

三和鋼産でのやりがい、そしてさくら株式会社への想いが、千葉を新たな世界へと連れていっていった。  
(後編に続く)

### 企業情報

設立年：2012年4月  
年商：11.6億円  
※2022年3月決算時点



# 入社半年！ 秋元さんの今に迫る！

入社して半年といえば、会社や業務の雰囲気をつかみ、  
いよいよこれからの方向性が見えてくるころ。これからの成長と活躍が楽しみな、  
総務部の秋元さんにお話を伺いました！



総務部

あきもと なな  
**秋元 菜奈さん**

## 入社後に感じたこと

### 前職の経験を活かして業務効率化を

前職と比べて感じたことは、まだまだデータ化されていない部分が多く、紙ベースでの作業が残っているということです。そのため、私が今まで培ってきたスキルを活かしながら、今後はデータ化・デジタル化を進めていきたいと考えています。会社の皆さんが仕事のしやすい環境づくり、会社全体の効率化に貢献できればとの思いです。

## 入社後、成長を感じる点

### 苦手なことも

**「とりあえずやってみる！」  
という姿勢で挑戦**

さくらに入社してからは、「できる・できないにかかわらず、とりあえずやってみることを基本姿勢にしています。いろいろな仕事に柔軟に対応することで、できることが少しずつ増えていき、成長していると手応えを感じています。たとえば先日、グラフ作成が必要な資料作成を依頼されました。得意分野ではなかったのですが、自分で調べながら資料を作成したところ、社長のイメージどおりに仕上げることができました。その資料があることで、職長の皆さんが現場について金銭面での進捗状況を確認・共有できるようになり、会社に貢献できた嬉しく思っています。

## 会社の様子や社員の人柄について

### さまざまな個性の人がいる バランスの良い職場

皆さんの人柄が良く、とても働きやすい会社だと思います。社長が相談しやすいお人柄のため、社長と社員との距離感が近く、良い雰囲気が作り出されています。総務部内は、黙々と働くタイプの人もいれば、意見をしっかり言うタイプの人もいて個性豊か。お互いに補い合ってバランス良く仕事が回っています。画一的ではなく、さまざまな個性の社員がいるからこそ、さくら株式会社が成り立っているのではないのでしょうか。

## 入社した今感じる、さくらの一番の魅力

### 異業種からの転職でも 快く受け入れてくれる温かさ

私は異業種から転職したため、初めは何もわからないところからのスタートでした。しかし、部内の先輩方が「わからないだろうけど、一度やってみよう」という方針でどんどん仕事を教えてくれたことで、すぐに馴染むことができました。コミュニケーション能力が高いほうではなく、人見知りをする性格なのですが、そのような私を快く受け入れていただきました。まだ入社してから1年も経っていない状況ですが、「さくらの一員として動いているかな」と考えながら、日々前進しています。



# さくらようこそ！ 新入社員紹介

2024年4月から新たに仲間に加わった、新入社員の阿部さんをご紹介します。  
さくらをさらに盛り上げていくために、これから力を合わせて頑張っていきましょう！



あべりお  
製造部 **阿部 莉緒さん**

出身地  
宮城県の塩竈市

誕生日  
2005年9月17日



## Q 特技

### 3年ほど前から映画鑑賞にハマリ中！

映画が好きでよく見えています。高校生のころ、NetflixやAmazonプライムに登録してもらったことをきっかけに、映画を見るようになりました。洋画や邦画を問わずいろいろな作品に触れることで、家族や友人と話を共有できるのが映画の良いところ。現在、最も気に入っている作品は『銀魂2 掟は破るためにこそある』です。笑えるコメディ映画で、元気をもらえます！

## Q 学生時代のエピソード

### 皆が楽しめることを常に考えていた高校生活

私が通っていた高校は、クラスに6名しか生徒がいまませんでした。小学校のころからずっと一緒の子もおり、友人たちは家族のような存在。6人でいかに楽しみながら勉強できるかを、いつも考えていた気がします。余談ですが、一度だけ学校や親に内緒で、平日にディズニーランドに遊びに行ったのは良い思い出です(笑)また、高校3年のときは文化祭の実行委員長を務めていたのですが、その際も皆が楽しめる方法を考えていました。下級生の子たちや先生方と話し合うことで、コミュニケーション能力が鍛えられたように思います。



▲左から栗原さん、阿部さん、佐々木さん

## Q 入社を決めた理由

### 社長や社員の人柄の良さが 決め手に

高校3年のときに企業説明会に参加したのですが、その時点で将来のビジョンは何もありませんでした。とりあえず会場を回り、お話をお聞きした中の1つがさくらです。社長が直接お話をくださったのですが、女性社員が少ないにもかかわらず、託児所を作りたいとおっしゃっていました。働きやすそうな会社だと感じ、後日会社見学をさせていただくことに。その際、社員の方々が親切にくださったのが決め手となり、入社を決意しました。入社後は女性社員の方々も積極的に話しかけてくださり、とても楽しく仕事できています。

## 今後の意気込み

### 1年後には「頼られる先輩」 になりたい！

何もかもが初めてのことばかりのため、まずは一通りのことに挑戦し、少しずつでも仕事を身につけていきたいと思っています。来年の4月には、私のように高校を卒業したばかりの方が入社してくるかもしれません。そのときに頼ってもらえるよう、まずは経験を積んでいくことが一番の目標です。何でも相談してもらえよう存在になれるよう、今後も頑張っていきます！

